

嶺小学校 適正規模地区委員会だより

嶺小学校適正規模地区委員会 平成 24 年 9 月 15 日 No. 9

第 9 回「嶺小学校適正規模地区委員会」の報告

第 9 回嶺小学校適正規模地区委員会を 8 月 28 日に嶺小学校で開催しました。

前回（第 8 回）の地区委員会で、今後の嶺小学校の在り方については保護者の意見を尊重することとし、そのために保護者の意見を集約すること、そして、それをもとに地区委員会としての方向性をまとめていくこととなりました。従って、今回の地区委員会では、保護者会の意見集約の状況及びその報告をもとに、今後の嶺小学校の在り方について協議をいたしました。協議の概要は下記のとおりです。

記

保護者会の報告

- ・ 7 月 11 日に保護者会を開き、そこで保護者のアンケートをとることとなった。7 月中に全保護者を対象に無記名でのアンケートを実施した。アンケートの内容は、「存続」「統合」「休校」の三者択一とした。
- ・ 8 月 7 日に、学校長・教頭、市教委と地区委員長の立ち会いのもと開票作業を行った。アンケートの結果は全 21 家庭中、「存続 9」「統合 10」「休校 1」「存続・統合 1」であった。
- ・ アンケート結果を受けて、8 月 24 日に保護者会を開いた。長時間にわたり会議を行ったが、存続及び統合の双方の意見が出され、結論までには至らなかった。保護者が悩んでいるのがアンケートの数字にも表れる結果となった。

協議で出された主な意見

- ・ 今回の保護者会での協議では、アンケート実施を含めて比較的短期間で行ったため、さらに時間をかけて協議する必要がある。
- ・ 現 5 年生が卒業した後のことを考えると不安があるが、低学年の保護者に存続希望が多い。
- ・ 地域には、「138 年の歴史のある学校」という意識がある。嶺小も芳賀小も互いに児童数が少なくなっていくので、早急に結論を出さなくてもよいのではないか。
- ・ 統合する場合、2 つの学校が対等な統合であること、また統合までの流れを芳賀地区の方と共通認識する必要がある。
- ・ 今後、全市的に児童数が減る傾向にある。少子化は嶺小地区だけの問題ではなく、芳賀地区全体の問題でもある。
- ・ 地区委員会とは別に、子育て世代が、少子化や子育ての問題等、子どもたちについて考える組織を作るとよいのではないか。

協議のまとめ

- ・ 今後も、保護者会で方向性についてさらに検討を重ねていくことになりました。そして、保護者会の協議の状況を踏まえて地区委員会を開催し、方向性を協議することとなりました。

「前橋市立小中学校適正規模・適正配置基本方針」は教育委員会ホームページでご覧いただけます

(<http://www.city.maebashi.gunma.jp/kurashi/230/257/004/p003248.html>)

<「地区委員会だより」も後日ホームページ上に掲載いたします>

問い合わせ：前橋市教育委員会学校教育課教育企画係 電話：898-5865 FAX：221-3418